

注 意 報

長崎県病害虫防除所長

平成29年度病害虫発生予察 注意報第5号

いちご ハダニ類 (ナミハダニ、カンザワハダニ)

1. 発生地域 (対象地域) 県下全域
2. 発生程度 多
3. 注意報発令の根拠

- (1) 本虫については、平成29年8月16日付け平成29年度病害虫発生予察防除情報第12号において防除の徹底を啓発してきたが、9月前期の育苗床での巡回調査(33筆)の結果、寄生株率は8.9%(平成3.6%)、発生圃場率は51.5%(平成35.7%)と平成より高かった(図1、2)。
- (2) 気象予報(福岡管区气象台、平成29年9月7日発表)によると、向こう1か月の気温は平成より高い見込みで、本虫の発生に好適である。

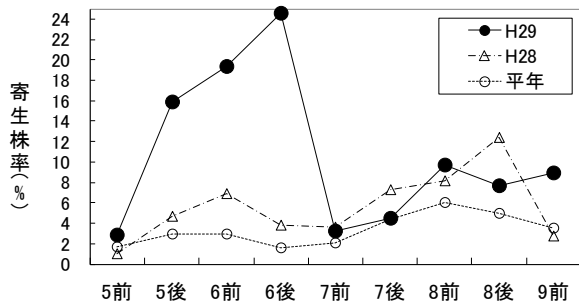


図1 ハダニ類 寄生株率の推移

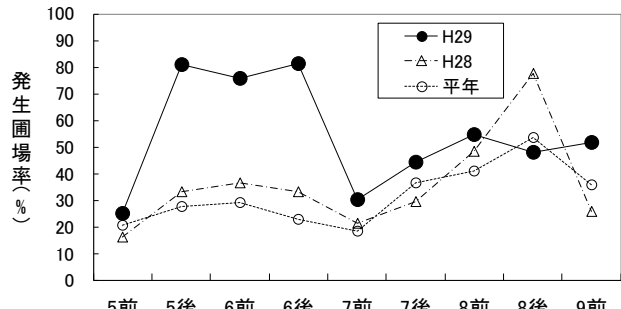


図2 ハダニ類 発生圃場率の推移

4. 防除対策

- (1) 本圃で多発すると防除が困難になるため、本圃へ持ち込まないように定植前までに防除を徹底する。定植済みの圃場では発生初期の防除に努める。
- (2) 下葉の裏に多く寄生するので、薬液が葉裏に十分かかるように丁寧に散布する。特に「ゆめのか」は「さちのか」よりも茎葉が繁茂しやすいため、農薬が葉裏まで十分かかるように留意する。なお、古葉を摘葉後に防除すると効果的である。
- (3) 薬剤感受性が低下しやすいので、異なる系統の薬剤(平成29年長崎県病害虫防除基準P210~213の「作用機構による分類(IRAC)」参照)をローテーション散布する。
なお、薬剤感受性低下の恐れが少ない気門封鎖剤は、卵に対する効果が低いので5~7日おきに連続散布を行なう。
- (4) 天敵による防除を予定している場合は、薬剤によっては天敵に長期間影響を与えるものがあるので、薬剤の選択と使用時期に注意する。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

